

創

—第 68 回—

別府をマーチングの聖地に

先日、「マーチングカーニバル・イン・別府2021」が開催され、秋晴れの中、市内外から多くの皆さんにご来場いただき、久々の熱気に包まれました。密の回避、マスク着用、応援は拍手で、という感染防止対策をしての開催です。

ところで皆さん、マーチングってそもそもご存知ですか？歩きながら楽器演奏し、ときにはダンスチームなど進行するものですよ。

別府にはマーチングの聖地としての要素が揃っています。かつての別府商業高校ではマーチングが盛んでした。『ハイスクールマーチ』は全国的にも有名で常に別府市民の心にあります。またビーコンプラザはマーチングには最高の箱です。こんなに広く、



別府市長
長野 恭紘

観客席も常設で取れる施設は無いといえます。

そして、宿泊施設や観光施設の多さです。大きな大会では万単位の宿泊が必要ですし、それ以外にも観光を楽しめるのは魅力です。

ぜひ市民の皆さんにもマーチングの魅力に触れていただきたい！本当に感動します！特に今年はコロナ禍で別府での演奏が初めて最後の機会になった生徒の皆さんが多かったと聞きました。そんな貴重な機会を提供できた別府は、皆さんにとって忘れられない思い出の地になったのではないのでしょうか。

これからもマーチングの聖地を目指して、たくさんの感動のステージを共に作っていきけると嬉しいですね。



フォトべっぷ



心 地よい音色でおもてなし—10月30日～12月2日の間に全5回、別府公園東駐車場のスターボックス前広場で別府市民フィルハーモニア管弦楽団が「音泉タウン音楽会」を開催しています。訪れた人々は気持ち良さそうに演奏を聴いていました。



2 年ぶりの開催—10月16日～17日の2日間、別府公園で県農林水産祭「おおいたみのりフェスタ」が開催されました。初めて農林部門と水産部門が合同実施され、生産者など129団体が出展し賑わいを見せました。



☒ 図書館のカタチを描く—10月30日、新図書館等整備事業「こどもワークショップ」及び「オープンプラットフォーム会議 Vol.7」を開催しました。参加した生徒らは「ワクワクする図書館」について真剣に考え、グループごとにプレゼンテーションをしました。



自 治体のデジタル化—10月19日、別府市、杵築市、日出町の2市1町で「別杵速見地域DX推進に関する基本協定」の締結式を行いました。それぞれの知見や経験の活用を図りながら、相互に連携協力しデジタル社会の実現を目指します。